

六、輝緑岩	五、石英斑岩	四、現世統	三、 白 璽 系	(二) 鳥ノ巣 統	(一) 四萬十統	二、珠羅系	一、 上部古生界 — 秩父系	第一章 地 質	目	振島羅行二〇横行三四地質說明書				
										明書		21		
一〇頁	九百	九頁	七頁	五頁	三頁	三頁	一頁	自一頁至一一頁					te	

-

.

9

7 發達之,角岩,粘板岩,砂岩及石灰岩 7 -H 17 示 角岩 ŀ 本系 + 能 振 頴 \mathcal{R} 2 2 第二章 # 微 灰 圌 n 島 第 鏡 塊 白 幅 n --色白 F 팠 モ 地 圖縱 -_ 「幅第二五三號 概 内 1 25 • 軰 石 色、灰 建築石材 岩 第二 於 1 Ŀ 灰岩 石 テ 四 色 部古生 是 千 側 應 + 地 或 米 ガ 九 r 用 州 遡 ~ -÷ 帶 逺 地 片 時 25 風ス 紅 7 ス 1 地 12 界 質 累層日 灰 ~ 檢 厚 質 v. 質 + 色 n z 豐後國 7 + 秩 n 說 襕 呈 IJ 3 父系 成 粒 内 シ、灰 明 リ、厚 外 北 狀 海 白 1 商 25 書 7 石 ¥ 部 色 T. . 英 成 郡 25 1 技 (昭和九年三月稿) э 居 æ 1/2 保 ·斷層多 師 戶 IJ 2 1 美 成 最 島 麗 及 IJ ÷ 鈴 碓 + 普 牛 南 費 通 海 n ŋ 褶 物 ナ * 部 木 Æ 25 曲 1 郡 層 箍 東 з 7 IJ = Ŀ. 主 现 之 デ 浦 ŀ 達 出 7 村 膠 31 ----結 x テ 計 1 頁 頁 頁 成 半 -te n 算 夫 5 = 層 ス 島 v ŀ 理 n 35

 小 一 = 羅內石 白由 皮 古等 岩ノ シ 成 示 堅厚 リ テ 豆 米 刹 村 外 粒 色良 ナ 生 ノ ハ 部 テ リ ス 硬 サ テ 厚 	通ジテ数能ノ小斷層アルヲ認メタリ、 一、珠羅系 「」四萬十統 「」。 「」、珠羅系 「」」。 「」四萬十統 「」四萬十統 「」四萬十統 「」四萬十一統 「」」。 「」四萬十一統 「」四萬十一統 「」。 「」四萬十一統 「」」。 「」。 「」。 「」四萬十一統 「」。 「」。 「」。 「」四萬十一統 「」。 「」。 「」。 「」四 二、 「、 「」四 二、 「、 「」四 二、 「、 「」四 二、 「、 「」四 二、 「、 「」四 二、 「、 「」四 二、 「、 「」四 二、 「」四 二、 「、 「」四 二、 「、 「」四 二、 「、 「」四 二、 「」一、 「」四 二、 「」一、 「」一。 「」一、 「」 「」一。 「」一。 「」一。 「」一。 「」一。 「」一。 「」一。 「」一。 「」一。 「」一。 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」	転板岩 灰色或へ暗灰色ヲ呈シ酸ニ = シテ縮片水ノ酸ー水 の岩 主トシテ族色ヲ呈シ酸ニ = 二素ノマリ、一層ノ厚サー米乃至十米=シテ 酸塩 = シテ露頭ニ於テハ 稍膠結弛キモノアリ、一層ノ厚サー 本法工質膠結物ヲ含メルコトアリ、一層ノ厚サー米乃至水ナルモノハ堅硬ナリ、一層ノ厚 、 微晶質 = シテ厚サー米乃至五米ナルモノハ堅硬ナリ、一層ノ厚 、 微晶質 = シテ厚サー米乃至五米ナルモノハ堅硬ナリ、一層ノ厚 、 一層ノ地層トノ關係明カナラザルモ九州本土ニ廣ク發達セル石灰岩 、 他ノ地層トノ關係明カナラザルモ九州本土ニ廣ク發達セル石灰岩 、 地方= 二素刀至東西=シテ傾斜北方=五十度乃至八十度
---	--	--

5 幅 統 散 北 7 ÷ 斷 層 + 瓦 是 1 以 2 本 地 1 鐡 時 於 方 放 -九 刹 2 南 層 n. 砂 -摩 ŋ 等 褠 族 砂 白 テ 層 -45 米 統 赤 硅 1 ÷ 2 代 5 -散 部 地 ÷ 岩 放 2 1 放 造 ~ 色 色 圖 岩 1 常 破 乃 ÷ 1 安 色 1 東 Ŧî. 蟲 壘 質 畤 匮 散 角 Ť 跟 散 -或 頁 愛 及 中 厚 3 薮 -碎 頁 至 1 西 藢 本 + 7 域 7 明 -蟲 岩 쇎 識 檺 本 22 綠 岩 媛 -+ 赤 岩 + ŀ IJ Щ 2 圖 *= 度 含 粒 凤 + 卽 2 層 碒 1 碓 続 -畿 色 2 鐵 1 縣 n 統 乃 ---易 米 物 モ 幅 互 * * 板 F ス 礫 3 7 板 微 色 25 硅 放 米 鑛 互 北 檅 献 中 至 n 牛 紅 + Ħ (二) 25 v + 岩 嵐 斷 7 成 岩 北 粒 1 板 散 層 乃 濉 .質 微 24 色 n. 2 於 A 八 硅 ÷ ij 糎 附 層 砂 ス 7 部 1 部 岩 蛊 至 粒 黨 1 3 村 7 島 1 ÷ 小 ÷ 成 ケ + 板 内 近 7 紅 粒 挾 硅 及 分 碓 Ŧ. IJ 國 +-7 3 星 蔣 ÷ 2 背 IJ n 度 外 岩 及 以 色 高 -南 質 3 7 米 永 本 板 交 威 1 統 7 ス 濃 石 1 25 四 斜 傾 7 1 テ 1 由 テ 島 物 n 部 挾 岩 地 岩 7 時 n IJ 25 ŀ 多 同 村 英 萬 及 稍 斜 稀 杲 膠 良 白 1 砂 碓 1 ы Ξ 巢 方 2 1 2 裔 n ÷ 高 キ 2 + 小 -及 濃 2 7 半 噩 2 結 南 -岩 ŋ 緻 或 同 板 大 テ 粘 成 セ 統 唯 1 助 赤 22 向 IJ, 采 色 硉 島 端 -10 統 頁 蠠 成 岩 分 2 嚮 色 帶 層 IJ ±: 3 ŀ 仍 2 斜 嵐 = 鐵 1 質 --及 n 岩 堿 n 織 堅 35 及 縣 放 緣 質 於 23 7 層 理 中 鑛 浦 走 擾 部 = 於 北 モ 層 15 色 硬 石 塗 保 物 安 本 散 色 無 -6 3 7 分 尻 向 1 2 5 Χ. 謎 1 ナ 發 部 ----色 -頁 灰 戶 蘨 H 時 岩 蟲 形 須 牛 N 微 ~ ŀ テ ~ 24 村 9 逮 居 ф 岩 岩 2 ÷ IJ 島 11 層 塊 硅 成 北 -÷ 晶 濙 鍛 1 24 卽 2 島 ÷ 1 7 -テ IJ 25 成 駃 帶 村 統 7 1 板 ス JII ₹ 色 密 五 蒿 Ŧ テ 首 ŋ. 走 厚 厚 成 移 挾 珠 IJ 及 1 紅 2 ŀ 含 岩 25 堅 + ÷ 以 1 厚 25 向 + Ŧ 過 層 時 4 東 異 羅 ÷ 暗 Ξ 2 废 2 部 硬 於 統 E サ 於 2 北 + 理 ÷ + J: + 系 挾 25 1 灰 放 分 東 + テ 0 2 雨 テ 略 部 糎 糎 共 7 ŋ 浦 細 7 色 米 n ŀ × 散 ŀ 2 東 硅 9 Ē 地 25 東 乃 區 乃 現 粒 IJ, 西 村 推 ÷ 點 26 蟲 n 南 西 美 米 板 本 1 城 至 西 至 2 本 IJ, 2 大 定 1 逺 + 地 方 1 麗 北 岩 四 統 普 乃 -Ŧī. -35 2 岩 石 家 濱 顯 z 形 У. 層 ナ -10 五 通 至 25 7 萬 ~ 於 * 31 鎺 次 白 英 微 臉 n 7 普 骸 N 傾 + 挟 2 Ξ + 紅 テ 5 25. 1 7 色 及 鏡 2 -之 ÷ 通 成 废 ₹ 米 ----斜 統 咸 × ft 傾 2 2 白 部 '長 放 下 發 唯 層 通 7 括 伴 ~ 層 西 ナ セ 頁 N 2 遊 斜 テ 色 中 散 石 22 逮 以 岩 = 成 +2 n 2 7 7 理 砂 白 ٩. 岩 北 子 常 叉 南 25 蟲 7 於 ス 石 層 + テ n 間 7 部 岩 堊 7 蔣 方 -2 厚 交 北 7 テ 窪 理 2 分 モ z -页 系 挾 \rightarrow 鋧 淵 頁 -灰 四 + 國 含 7 之 = Щ 7 層 1 = ----7 7 岩 25 地 3 五 戶 岩 色 走 n ガ 永 字 殽 4 现 1 ŀ = y, IJ ÷ 1 1 n 島 + 中 部 耦 = 3 瀐 2 地 和 25 2 n 厚 7 チ 互 間 砂 N² 度 1 -7 乃 片 方 ŀ ŀ n 3 島 安 テ 其 槪 ÷ ŋ 層 n 岩 25 乃 各 介 挾 斷 至 7 7 7 . -藝 瀐 兩 此 部 2 + rí 2 塊 ----至 在 村 層 4 五 於 n 9 檢 板 翻 Ш 普 本 放 分 デ n 岩 狀 1 ス 八 -糎 7 ス -通 岩 ナ

五

<i>, , , , , , , , , ,</i>
北ハ國永ノ北ヲ東西ニ走レル斷層ニヨリテ四萬十統ト境シ南ハ岩松灣ヲ隔テ、其南岸ノ白
系ト相對ス。 恐ラク灣中ニ東西ニ走レル斷層アルナラント想像ス。 大分縣ニ
ノモノ共ニ含化石石灰岩ヲ挾メル砂岩及頁岩層ニシテ東西ニ走レル斷層ニヨリ古生層間ニ
落込ミタルナリ。
砂岩 灰色或い暗灰色ヲ帯ビ細粒或ハ粗粒ニシテ成層理ナク塊狀ヲ星ス。主ニ石英及長
石ヨリ成り、細粒粘土質物ニテ膠結セラレ、一層ノ厚サ一米乃至五米ナリ、
頁岩 暗灰色或い灰色ヲ呈シ小片ニ破砕シ易ク時ニ板狀ニ網グルモノアリ。 一層ノ厚サ
一米乃至十米ナリ。
石灰岩 灰色或い暗灰色ニシテ鲕狀ヲ呈スルモノ多シ。縦密ノモノハ微粒石灰質物ノ集
合ヨリ成リ部分ニヨリテ多少結晶質ナリ。 而シテ石灰岩ハ常ニ頁岩中ニ介在シー層ノ厚サ
一米乃至三米ナリ。
硅板岩 帶紅灰白色ヲ呈シ緻密堅硬ニシテ薄キ淡紅色ト灰白色ノ成層理ヲ現出シ一層ノ
厚サ十種乃至一米ナリ。
構造 本統ハ一般=走向略東西=シテ領斜北方=六十度內外ナルモ家次ノ半島=於テハ
北五十度東傾斜北西ニ三十度ニシテ此半島部ハ小斷層ノ為メ擾亂セルガ如シ。 岩層ノ厚サ
ハ千米內外ト推定セラル。 又大分縣ニ於ケル本統ハ褶曲及斷層ニヨリテ擾亂セル古生層地
域ノ間ニ介在シ古生層ト同様ニ略東西ニ走り北方ニ五十度內外傾斜セリ、
化石 北灘村國永保口島村及東上浦村大濱峠ニ於ケル石灰岩ニハ珊瑚有孔蟲及層孔蟲ノ
化石ヲ含ム、 共屬藏名ハ判明セザルモ島ノ巢統ニ現出スルモノニ類似スルヲ以テ本層ヲ島
ノ巢統トセリ。 嘗テ井上博士ハ二十萬分之一字和島圖幅地質說明書中ニ國延地方ノ石灰岩
ヨリ Tectuluria? ノ有孔蟲ヲ採取セシコトヲ記蔵セラレタリ。此石灰岩ハ國永ニ於ケル含化
石石灰岩ト同層ナラン。
三、白 堊 系
本層、高島野島ノ島嶼及三浦村地方=發達セルモノト北灘村小日提及畑地村地方=發達
セルモノトアリ。 前者ハ東隣宇和島圖幅=發達セル含化石砂岩頁岩層ノ連續ニシテ明カニ
白堊系ニ屬シ後者ノ中北灘村小日提ニ發達セルモノハ砂岩及頁岩ノ厚サ十糎乃至三十糎ノ
東西
化石白垩系ニ連續
ルモノナルヲ以テ字和島圖幅地質説明書中ニ述ベタル事質ト岩層ノ性質トニヨリ茲ニ白渠

-1:

ガ =+ 盾 層 物 7 系 南 褶 + 六 萬 1 地 ス 厚 モ IJ 本 7 康 + ₹ + 躍 35 攝 璺 理 頁 + 1 ズ 砂 本 北 曲 篙 -北 米 岩 岩 統 乃 Ŧ 造 岩 纒 9 含 + 4 岩 度 統 斜 厚 2 鍋 及 ÷ -方 -至 異 經乃 辙 テ 25 及 地 現 入 2 瓦 2 ス ŀ 層 * 25 3 25 南 海 六 層 + * 普 ź 泥 塊 灰 セ 11 北 25 ₹ ---小 2 2 ν 六 系 米 宇 岸 斷 + 方 銷 ť 斷 成 r 豆 テ 2 通 25 至 質 肤 色 IJ. N 小 Ξ 和 及 五 層 内 大 砂 灰 植 物 1 灰 五 斷 層 度 亂 ス。 IJ 25 板 兀 H +215 河 + 層 7 島 外 乃 岩 胀 色 物 及 + モ ₹ + 提 ÷ 慶 白 3 岸 化 粘 內 嶼* 至 7 兣 作 以 高 -1 色 附 n 度 ŋ, 斜 野 25 ŀ 附 石 現 海 -島 半 互 釗 星 テ 島 胡 石 = 1: ŀ 皷 2 迎 7 ÷ F 25 近 村 發 H 接 島 デ 桃 層 1. セ 1 31 質 7 23 25 3 1 Ξ 25 -2 英 逮 柏 於 等 7 世 於 畑 テ 砂 浦 -te 於 砂 實 -10 n 破 物 IJ. 帶 1 北 崎 岩 굡 片 ĽÍ 大 7 縰 31 テ 地 濱 岩 村 IJ F テ ŋ モ 斑 ----部 附 時 狹 村 相 通 7 沿 含 灰 走 斷 向 尾 2 2 -1 音 頁 島 統 近 岩 小 走 走 雕 移 厚 認 ŀ 1. 通 色 向 層 斜 九 砂 25 1 崎 岩 首 * 25 島 向 向 岩 帶 互 授 7 + 於 層 過 サ 北 附 V 1 --北 曆 石 發 村 略 テ **I** 縑 得 厚 星 n テ 7 互 於 -te -六 近 發 賦 逵 五 米 暗 步 及 地 + 2 25 ナ 屠 テ 1 柬 10 岩 ~ ÷ ス 達 + 乃 ŋ. 坺 西 存 2 石 セ 度 走 平 灰 ----テ ス 角 2 2 ÷ 英 7 傾 度 至 色 米 n 東 浦 岩 細 向 走 走 2 2 n 或 斜 乃 + 野 75 粒 四 占 略 半 1 1 粒 傾 向 傾 向 小 74 至 萬 北 至 礫 米 島 в 乃 1 東 島 27 毛 斜 斜 П 北 略 黨 + 方 六 IJ + 主 西 兩 提 -斷 7 + 1 15 至 北 東 五 + 於 米 於 + 層 n 成 粗 続 ŀ 西 傾 方 及 + 西 -砂 7 統 度 7 IJ 六 3 粒 7 テ 粒 モ IJ 2 六 斜 六 田 度 = ŀ 東 普 時 貫 テ 北 + 依 小 ĸ + + 2 2 15. -1 西 略 砂 废 方 濱 北 五 傾 テ H. 本 通 -废 IJ 2 通 ----乃 テ 東 岩 頁 及 六 度 斜 地 膠 提 般 ŀ テ 2 7 25 ŀ 至 傾 -西 附 岩 .六 結 ス 垂 磜 示 於 東 + 1 北 塊 25 中 成 ナ 斜 25 西 近 谊 ŋ 北 度 單 細 n 1 層 э 2 + 5 西 夏 = ÷ 方 破 E. 西 斜 1 片 2 毛 19 地 度 方 分 理 1 2 佰 V n 居 小 片 內 ÷ 成 7 層 " 走 或 25 ŋ モ -----成 왉 25 n 日 岩 Ξ 1 層 ヲ 外 地 向 1 25 V 1 破 表 n 錯 六 大 斷 脈 層 東 北 2 + 共 2 碎 理 提 含 2 亂 1 + 層 25 E 附 7 度 厚 -單 西 提 度 六 テ 構 $\mathbf{\hat{\nu}}$ 31 2 セ ÷ 1 ヲ 縞 近 乃 步 易 ,帶 成 斜 變 + 西 譜 テ 傾 -内 n n 以 至 助 度 南 灰 + 7 脹 1 織 ÷ ガ 居 斜 於 外 モ ÷ テ 東 部 六 纒 時 ÷ 灰 北 自 色 1 ij 如 + 多 チ 1 接 1 方 -1 + 3 7 乃 炭 1 色 前 25 n 7 單 ŀ 2 2 共 走 74 庞 各 星 至 成 質へ 干 小 四 方 斜 Z 1 麩

九

稲

Ξ

內

外

15

2

テ

長

+

約

+

米

1

間

露

出

7

 総石磁鐵鐵及暗色物 = 變化セリ、 第二章 應 用 地 質 「、石 灰 岩 「、石 灰 岩 「、石 灰 岩 「、石 灰 岩 「、一 定 築 石 材 「一、建 築 石 材 白垩系ノ砂岩 = ハ塊振ヲ成シ稍綱工容易ナルモノアル為メ斯ノ如キ砂岩 ハ三浦村豊浦半島 = 於テ採石セラレ石垣石墨石 = 利用セラル、又四萬十続ノ砂岩 ハ石灰焦成用及セメント」 幕連右磁鐵鐵及暗色物 = 變化セリ、 	岩石 次白色ニシテ斑狀ヲ呈ス。 第石 次白色ニシテ斑狀ヲ呈ス。 第石 次白色ニシテ斑狀ア呈ス。 第二 一 正長石 ハ長サ三純内外ノ 柱狀結晶ニシテ(カールスパド)及晶 フ成シ高酸土化セルモノ多シ、 7 加粒結晶ヨリ成リ 斜長石 ノ細柱狀結晶ニシテ(カールスパド)及晶 フ成シ高酸土化セルモノ多ン 7 加粒結晶ヨリ成リ 斜長石 ノ細柱狀結晶ニシテ(カールスパド)及晶 フ成シ高酸土化セルモノ多ン 7 水 輝 線 告 7 小 輝 線 告 7 小 輝 線 告 7 本岩 ハ北字和郡日振島村 喜時附近及横鳥ニ於テ四萬十統ノ頁岩 ラ貫キ 藤白シ厚サ三米内 7 水部分 アリ。時×白色 ニ 碓化 シタル 部分 アリテント 美麗ナル 編載様 フ現出 セリ。 7 本岩 ハ石理細密ナリ。 石理敏密 ニシテ大部分 ハ線色 ア呈スルモ 共線 塗 ニ ハ 紅色 フ 星 モリ。 7 本岩 ハ石理細密ナリ。 石理敏密 ニシテ大部分 小線色 ア 呈 スルモ 共線 塗 ニ ハ 紅色 フ 星 化 シタル 部分 アリテント 美麗ナル 編 様 ア 現出 セリ。 7 本岩 ハ石理細密ナリ。 石理敏密 ニシテ大部分 小線色 ア 呈 スルモ 共線 塗 ニ ハ 紅色 フ 星 ス ア 本岩 ハ 石理 細密 テ シ ア 正長石 ハ 高陵 土 化 シ タ ル 部分 ア リ テ 之 ト 美麗ナル 編 様 ア 現出 セリ。 7 本岩 ハ 石理 細密 テ ジェ (新田) 原 サ 三米内 7 本岩 ハ 北字和 郡日 振 吉村 当 時近 及 横島 ニ シテ (市) テ ン 小 (本) ク ル 部分 ア リ テ 之 ト 美麗 ナル 編 様 ア 現 出 セリ。 7 本岩 ハ 石理 細密 テ 近 (本) 小 (本) ク ル 部分 ア リ テ 之 ト 美麗 ナル 編 株 一 7 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
---	---

				昭和十二年三月二十五日 發 行昭和十二年三月 二 十 日 印 刷	
發	印	ED	著作權所有	月 二十 十	
行	刷	刷	權所		
所	所	者	有	發 印 行 刷	
東京市麴町區	東京市深川區白河	東京市深川區白河町四丁目一	商		
京 二 二 一 二 晋 町 四	京町四丁	町四		郵定	. 1
番 地 町	日日	井 丁	T	税金	
₽ ^十	印刷株	番地		郵 税 金 貳 錢	
番協地	式會	方 一	省	錢錢	
會	社 ·	利			

•

EXPLANATORY TEXT OF THE GEOLOGICAL MAP OF JAPAN

Scale 1:75,000

HIBURISHIMA Zone 34 Col. XX Sheet 253 By TATSUO SUZUKI (Written in 1935)

(Abstract)

GEOLOGY

Upper Palaeozoic (Chichibu System) is exposed on the island of Hodoshima and peninsula of Higashikamiura, both in Bungo, Kyūshū. It consists of gray to dark gray and fine-grained sandstones, dark gray phyllitic slate and light gray to reddish tinged hornstone interbedding a few limestone lenses. It has been fallen into three belts of faulted blocks dipping steeply to north at 50° to 80°. Although no fossil remain has been discovered from it, yet its lithological characters quite agree with those of the Chichibu System.

Jurassic Shimanto Series is more widely distributed in two regions in Iyo, Shikoku, the one comprising the Yusu-Komobuchi Peninsula and the islands of Toshima and Hiburishima, all in Kitauwa-gun, and the other, the Yura Peninsula and surroundings of Arashi. Both in the two regions, the Shimanto rocks constitute monoclinal strata striking east to west and dipping to north at 50° to 80°. This series is composed chiefly of grayish coloured, fine to coarse-grained sandstones, dark gray shale with occasional thin layers of conglomerate, light gray to greenish cherts and reddish radiolarian chert or shale, the latter two being characteristic to the series.

____ 2 ____

Upper Jurassic (Torinosu Series): About 1,000 metres of sandstone and shale in alternation with a few beds of red chert and fossiliferous limestone. The limestone is imbedded usually in the shale, thin-bedded and gray to dark gray in colour, mostly oolftic, but some compact or crystalline in texture. It contains fossil coral, echinoidal spine, stromatopora and foraminifera. Lithological aspects and fossil contents of the limestone are alike to those found in the Torinosu Series in the other regions of Shikoku.

The series is found in two separated areas, the one in the vicinity of Kuninaga in Kitanada-mura, Shikoku, the other on Hodoshima and Higashi-kamiura in Bungo. In the region of Kuninaga, the series seems to be faulted down against the Shimanto series. It holds monoclinal dips to north at about 70°. On Hodoshima and in Higashi-kamiura, the series is found as faulted blocks squeezed into the Palaeozoic strata and mentains general east-west strike and monoclinal dips to north at 60° to 70°.

Cretaceous formation that appears in the sheet area is a direct continuation of the fossiliferous Cretaceous already described in the neighbouring Uwajima sheet. It is composed chiefly of sandstone and shale, locally with thin conglomerate. The sandstone is gray to dark gray in colour and fine to coarse grained in texture. The shale is gray to dark gray, often green and friable. The series is distributed in two separated areas, the northern one including the islands of Nojima, Takashima and Torikubi and the adjacent peninsula, the other, the surroungings of Ohisage. In both areas the Cretaceous strata strike generally from east to west, but locally northeast or northwest and dip generally to north at 30° and more steep. On Nojima, some sandstones are well banded with streaks of coaly substance. In the region of Ohisage, the sandstone and shale are thin-bedded and finely alternated. In places, especially near the traversing faults the strata are folded.

Recent deposit of sand and gravel is developed along the sea coast and rivers.

Quartz-Porphyry occurs as a dike, 3 metres wide and about 20 metres long, intruding the Shimanto series near Kashiwazaki. The rock is light grayish coloured, porphyritic with felspar phenocrysts and microgranular ground-mass.

Diabase is exposed at Yokoshima and Hiburishima as intrusive sheets into the Shimanto strata. It is a fine grained, greenish chloritized rock but notably silicified at the marginal portion.

- 4 ----

ECONOMIC GEOLOGY

Limestone embedded in the Palaeozoic formation is being quarried at Ohama in Higashi-kamiura and shipped to Tsugumi in Bungo, as a raw material for lime-making.

Building Stone is quarried from sandstones of the Shimanto series and Cretaceous formation to obtain foundation-stones, wall-stones and tomb-stones for local consumers.